

平成 26 年度 第 1 回脊髄モニタリングワーキンググループ議事録

日時： 平成 26 年 4 月 18 日（金）AM 7:00 ~ 8:00

会場： 国立京都国際会館 5 階 「552」

出席者： 松山幸弘委員長、谷俊一アドバイザー、安藤 宗治、和田簡一郎、
伊藤全哉、寒竹司、川端茂徳、藤原 靖、山田 圭、山本直也、
木田和伸、小林祥各委員

議事録

1 , 平成 26 年度ハンズオンセミナーの実施計画

期間 7 月より応募を開始, 9 月 ~ 12 月実施予定 .

募集方法 昨年同様には FAX で申込書を提出し, 先着 50 名予定 .

2 , Br(E)-MsEP のアラームポイント策定

学会や論文報告時には, 共著者全てに内容を周知することを, 確認した .

脊髄腫瘍

髄内腫瘍 117 例のモニタリングをまとめ, 振幅 70% 以上の低下をアラームポイントにすると 90% 以上の良好な感度, 特異度を得た .

平成 25 年度までの統計報告

今年度は 322 例, 過去の総症例数は 1635 例であり, 振幅 70% 以上の低下をアラームポイントにすると良好な感度, 特異度を得た . 術前重度麻痺症例では振幅 80% 低下をアラームポイントにできる可能性を示した .

今後の課題

本研究を各施設の倫理委員会に諮ること .

MEP fading (false positive) の問題があり, 今後は髄内腫瘍, 胸椎 OPLL 症例では D-wave を必ずモニターし, その解析を行っていくこと .

3 , 本ワーキンググループにおける研究の呼称

学会報告や論文発表の際に, 簡明な呼称があると認知されやすい .

『JSSR iOM study』や『iOM Japan study』などの案が挙がった .

ネイティブチェックのうえ, 再協議する .

4 , 次回開催予定

平成 27 年 2 月 6 日にワーキンググループ開催予定 . ハンズオンセミナーの実施報告と昨年度麻痺症例の波形詳細を供覧する予定 .